

昭和学報

昭和女子大学
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂
03(3401)5118
編集発行人 山崎洋史

Time to Talk

人間文化学部長 増澤 史子

今や世界中で「Global」の強い風が吹いています。「Global Competence」(グローバルに対応できる能力)とはなにか模索しながらも、世界中の学生が地球上のあらゆる場所で交流する姿が想像されます。この傾向は更に強くなり、決して弱くなくなることはありません。

「グローバルなんて自分には関係ない」と思っている人もいるかもしれませんが、多くの学生さんは、ある面では、すでにグローバルと言えるでしょう。Facebook, Twitter, Lineなどは、日常生活の一部で、世界のどこにいても、手軽に連絡をとるイベントをアプリする、つまり「つながる」ということを難なく行っているように思えます。日本の「かわいい」文化とともに、Lineが、現在、米国に破竹の勢いで入っています。中国のWeChatというものもあるようですが、Lineの勢いはその比ではなく、米国のヒスパニック系をターゲットに



して広がっています。ただこういう状況の中で、気になることは、これだけ「つながる」ことに一生懸命なのに、なぜか、お互いの距離が詰められないバーチャルな関係に見えることです。つまり世界中につながるツールは使えても、生身の人間とのコミュニケーションができません。コミュニケーションができないと一九八四年からアメリカで始まったTED TALKという大会があります。TEDはTechnology, Entertainment, Designを意味します。一九九〇年から毎年アメリカ各地で開催され、今や世界中に広がり、日本でも今年の五月に渋谷ヒカリエで開催されました。一般には、NHKが

今月の昭和学報は
平成二五年度就職状況……………(2)
世田谷区との連携力に関する包括協定を締結……………(3)
福祉 中本優里さんタツチラグビー日本代表としてオーストラリア遠征に参加……………(4)

「スーパープレゼンテーション」として二〇一二年に放映してから広く知られるようになりました。Look & Sayという言葉を用いて表しています。このことばは、「ちょうど自分の分野の専門家が一〇分から二〇分程度で行っています。このTED TALKのサイトは無料です。自分の興味のある分野を検索すれば、世界中の人のユニークな発想に接することができます。英語のプレゼンが多いのですが、三〇カ国語ほどのサブタイトルが用意されていて選ぶことができます。英語が苦手という人も、きつと面白いアイデアに出会うことと思います。さて、その中で、二〇一二年「Connected, but alone?」(つながっている、孤独?)というタイトルの、Steven Turkleという心理学者が、お互いにしっかりと話せる若者の状況について話をしていきますので、一度ぜひ機会をみつけて聞いてみてください。友人が集まって、真剣に話すわけでもなく携帯をいじっている姿はキャ

ンパスだけでなくどこにでもみられます。彼女はこの状態を「Goldilocks」と言うことばを用いて表しています。このことばは、「ちょうどよい」状態を表したものです。経済用語にも使われていますが、もともと「Goldilocks and the Three Bears」というイギリスの童話に由来するものです。スクリーンを通して、「つながる」ことは相手を傷つけることもなくまた自分が傷つくりスカルも少なくなりません。しかし、「ちょうどよい」関係だけに甘んじているソーシャルロボットになってしまっているのではないのでしょうか。安全な日本に暮らしていて、便利なものに囲まれて、面倒なことは避けて、実際の世界に飛び込むことをせず、傍観者としてみているのは「心地よい」かもしれませんが、まずは、「直接の対話」を身近な人から始めて徐々にその輪を世界に広げていってください。これこそ、グローバルの基本です。グローバルの風に乗って、もう一歩だけ前に進んでみませんか。(ますざわ ふみこ)

第六回(二〇一三年) 昭和女子大学女性文化研究賞・研究奨励賞 (坂東眞理子基金) 贈呈式・記念祝賀会を開催
五月二七日、学園本部館にて女性文化研究賞と女性文化研究奨励賞の贈呈式が開催され、贈呈書と賞金の授与が行われた。第六回の受賞は次の通り。
◆女性文化研究賞 大沢眞理(東京大学社会科学研究所教授) 『生活保障のガバナンス・ソリューション』とお金の流れで読み解く(有斐閣)



大沢眞理氏(前列中央)と吉原令子氏(前列中央右)と選考委員

◆女性文化研究奨励賞 吉原令子(一九八七年本学英米文学科卒業・日本大学商学部准教授) 『アメリカの第二波フェミニズム―一九六〇年代から現在まで』(下メス出版)

キャリアアカレッジ開講式
昭和女子大学キャリアアカレッジ「起業家養成実践講座」が五月一〇日に開講した。開講式では坂東眞理子学長が「女性の活性化は日本経済の再生に不可欠。皆さんにはご自身の夢を叶えると同時に世の中を変える原動力になって欲しい」と激励の言葉を送り、熊平美香キャリアアカレッジ学院長が「女性には社会を変える力がある。キャリアアカレッジをそのような女性の集まる拠点としたい」と抱負を述べた。初日の講義は、シンクタンク・ソフィアバンク代表、藤沢久美さんを講師として行われ、終了後、大学内の会議室で交流会が開かれた。今回集まったのは二〇代から五〇代の女性一四名。受講生の職歴は広告代理店、デザイン会社、旅客運輸業、製造業、モデル業、会計事務所など幅広く、受講生同士のネットワークも今後の大きな力になりそうだ。キャリアアカレッジでは秋からは組織内で管理職を目指す女性のための「ステップアップ実践講座」も開講を予定している。(ビジネス 福沢恵子)



開講式で話す坂東学長

平成二五年度

就職状況



平成二五年度(平成二三年三月卒)の就職状況は、景気回復に伴う人手不足を背景に企業の採用意欲が高まった結果、前年に比べさらに改善された。

文科科学省と厚生労働省が五月一六日に発表し、平成二五年度「大学等卒業者の就職状況調査」(四月一日現在・抽出調査)によると、全国の大学の就職率は(就職希望者に占める就職者の割合)94.4%で、前年同期を0.5ポイント上回った。

男女別では、女子が95.2%で前年同期を0.5ポイント上回り、男子の93.8%(前年同期比0.6ポイント上昇)との差はわずかに縮まったものの、二年連続で「女子優位」の状況が続いている。女子を私立と国公立別でみると、私立が94.4%(前年同期比0.2ポイント上昇)だったのに対し、国公立は97.4%(同1.4ポイント上昇)で、私立が苦戦している。

以上の就職率とは別に、就職者を卒業生総数から大学院進学者を差し引いた母数で割る「就職率2」で見ると、本学の学部は91.2%で、前年同期に比べ1.0ポイント上昇した。この「就職率2」は大学通信が集計し、サンデー毎日など

3.4ポイント上回っており、「就職支援に厚い」という本学に対する評価を改めて裏付けたものといえる。各学科のキャリア支援部委員の先生方と学科担当のキャリア支援センター職員が連絡を密に取り、特に四年生の秋から翌春の卒業時までめ細かくバックアップ態勢を取っており、その成果が実った形だ。

一方、今春廃止となった本学の短期大学部は、卒業生98人のうち、就職希望者は33人、就職したのは26人で、就職率は78.8%だった。私立短大女子の全国平均は94.2%なので、厳しい結果となった。

本学の場合、五月二三日に確定値(平成二五年九月卒を含む)を集計した結果、学部は卒業生1312人にに対し、就職希望者は1189人、就職率は97.8%だった。これは、前年同期を0.4ポイント下回ったが、全国の私立大学女子の平均を

にデータを提供しているもので、本学は昨年まで卒業生1000人以上の女子大で三年連続第一位だった。今年の結果は七月上旬に発行されるサンデー毎日に掲載される予定で、四年連続に期待がかかる。

学部の就職先を業種別に見ると、医療・福祉関係が119人で増加傾向にあるほか、学校や専門学校、学習塾、教育支援など教育関係が103人と続く。銀行や生保、損保など金融関連は96人で、三ヶタには乗らなかった。ほかにも多いのは、情報通信の73人、

建設・住宅の64人、ホテル・旅行の56人、飲食サービスの49人、不動産の41人などとなっている。職種別では、総合職と転勤を伴わない準総合職が合わせて227人で、全体に占める比率は約2割でほぼ横ばい。これに対し一般事務職は285人で、総合職より人数で三割近く多い。ただ、卒業生の数が増えているので構成比では前年とほとんど変わらない。そのほか、販売職が109人、サービス職が105人、営業職が66人、技術職が64人。

資格系では、保育士が49人、栄養士が44人、介護職を含む福祉施設指導員が42人、管理栄養士が32人、医療ソーシャルワーカーが10人、幼稚園21人、中学8人、高校7人の順。正社員、契約社員、派遣社員の別では、正社員が1001人(構成比は86.1%)、契約155人(同13.3%)、派遣7人(同0.6%)。昨年は正社員の割合が80.7%だったので、比率は増えている。

キャリア支援センター長 磯野彰彦

昭和女子大学の就職率

	昭和女子大学	私立大学女子平均
平成21年度	94.3%	90.2%
平成22年度	96.1%	89.6%
平成23年度	97.2%	91.7%
平成24年度	98.2%	94.2%
平成25年度	97.8%	94.4%

卒業生1312人 (就職者1163人/希望者1189人)
※本学の平成25年度の数字は5月23日確定値



学内合同企業説明会の様子

以上、就職率と別

建設・住宅の64人、ホテル・旅行の56人、飲食サービスの49人、不動産の41人などとなっている。職種別では、総合職と転勤を伴わない準総合職が合わせて227人で、全体に占める比率は約2割でほぼ横ばい。これに対し一般事務職は285人で、総合職より人数で三割近く多い。ただ、卒業生の数が増えているので構成比では前年とほとんど変わらない。そのほか、販売職が109人、サービス職が105人、営業職が66人、技術職が64人。

資格系では、保育士が49人、栄養士が44人、介護職を含む福祉施設指導員が42人、管理栄養士が32人、医療ソーシャルワーカーが10人、幼稚園21人、中学8人、高校7人の順。正社員、契約社員、派遣社員の別では、正社員が1001人(構成比は86.1%)、契約155人(同13.3%)、派遣7人(同0.6%)。昨年は正社員の割合が80.7%だったので、比率は増えている。

キャリア支援センター長 磯野彰彦

就職者数 上位就職先

平成23年度		平成24年度		平成25年度	
1 三越伊勢丹	13名	1 東京都(教員)	22名	1 東京都(教員)	20名
2 清水建設	10名	2 三越伊勢丹	21名	2 三越伊勢丹	17名
3 日清医療食品	7名	3 富士産業	11名	3 ジェイ・エス・エス	16名
パナソニックテレコム	7名	4 パナソニックホームエンジニアリング	10名	4 三菱東京UFJ銀行	10名
木下工務店(木下グループ)	7名	5 三菱東京UFJ銀行	9名	パナソニックホームエンジニアリング	10名
6 パナソニックホームエンジニアリング	6名	6 ジェイ・エス・エス	9名	6 トランス・コスモス	9名
富士産業	6名	7 みずほフィナンシャルグループ	6名	みずほフィナンシャルグループ	9名
ワコール	6名	清水建設	6名	富士産業	9名
9 三菱東京UFJ銀行	5名	いるま保育園	6名	9 オンワード樺山	8名
日本生命保険	5名	10 日本生命保険	5名	10 東京都世田谷区(保育士)	7名
エームサービス関東	5名	ベネッセスタイルケア	5名	エームサービス関東	7名
東急ハンズ	5名	12 全日本空輸	4名	ベネッセスタイルケア	7名
ジェイ・エス・エス	5名	常陽銀行	4名	13 日本生命保険	6名

平成25年度 主な就職先一覧

業種	企業名	人数	業種	企業名	人数			
建設・住宅	パナソニックホームエンジニアリング	10	飲食サービス	富士産業	9			
	清水建設	4		エームサービス関東	7			
	積水ハウスリフォーム	3		LEOC	5			
	三井ホーム	2		日清医療食品	4			
	三井不動産リフォーム	2		三菱東京UFJ銀行	10			
不動産	大和ハウス工業	2	銀行・金庫	みずほフィナンシャルグループ	9			
	積水ハウス	1		三井住友銀行	5			
	長谷工コーポレーション	1		百十四銀行	2			
	五洋建設	1		千葉銀行	2			
	大京アステージ	6		筑波銀行	2			
	三井不動産リアルティ	4		農林中央金庫	1			
	ルミネ	4		ゆうちょ銀行(日本郵政グループ)	1			
	スターツグループ	2		東京都民銀行	1			
	三井住友トラスト不動産	1		常陽銀行	1			
	東急リパブル	1		保険	日本生命保険	6		
食品	キュービー	4	第一生命保険		5			
	日本食研ホールディングス	2	明治安田生命保険		4			
	日本製粉	1	三井生命保険		3			
	フジッコ	1	あいおいニッセイ同和損害保険		2			
	味の素冷凍食品	1	住友生命保険	1				
繊維・衣料	フジパングループ	1	航空・運輸	全日本空輸	3			
	伊藤園	1		東日本旅客鉄道(JR東日本)	3			
	オンワード	8		スカイネットアジア航空	2			
	ワコール	2		日本航空	1			
	ユナイテッドアローズ	2		病院・福祉	ベネッセスタイルケア	7		
サマンサタバサジャパニミテッド	2	戸田中央医科グループ	3					
アニエスベーサンライズ	1	東京都済生会中央病院	2					
東ソー	1	帝京大学医学部附属病院	2					
ファンケル	1	放送	山形放送		1			
ディーエイチシー	1		佐渡テレビジョン	1				
金属	住友電気工業	1	情報通信	トランス・コスモス	9			
	三菱電機	3		マイナビ	2			
	ダイスコ	2		ソフトバンク	1			
	京セラ	1		ドコモ・データコム	1			
	三越伊勢丹	17		ホテル	シェラトン都ホテル東京	3		
米国三越	3	ANA(ANAコンパニオンホテル)東京	1					
花王カスターマーマーケティング	2	パークハイアット 東京	1					
東武百貨店	1	京王プラザホテル	1					
三菱電機	2	旅行	エイチ・アイ・エス		4			
小売	伊藤忠プラントック		1	JTBコーポレートセールス	1			
	富士フィルムビジネスサプライ		1	JTB首都圏	1			
	JFE商事鉄鋼建材		1	近畿日本ツーリスト	1			
	加賀電子		1	郵便(日本郵政グループ)	4			
	三菱電機	1	職種	勤務先	人数	人数		
幼稚園	21名	非常勤					公立	6
							私立	2
小学校	43名	非常勤					公立	2
							私立	2

職種	勤務先	人数	
中学校	8名	常勤	6
		非常勤	2
高等学校	7名	常勤	2
		非常勤	5

文化講座 グローバル人材育成推進事業 シンポジウム (6/4)



女性初の駐米米国大使ケネディ氏は力強く、現に就任したキャロライナ・ケネディ氏をお迎えし、「女性性は世界を変えろ」というテーマでシンポジウムが行われた。坂東眞理子学長の紹介で、ケネディ氏が登壇すると、会場からは驚きと共に盛大な拍手が湧き起こった。続く基調講演で、ケネディ氏は「女性性は世界を変えろ」という言葉が強く心に残っている。次に、伊藤忠商事株式会社取締役会長の小林栄

ケネディ氏は力強く、現に就任したキャロライナ・ケネディ氏をお迎えし、一歩を踏み出すことが重要であると述べた。自身自身で行動するとともに、他者と協力することで変化を生み出すことができるという言葉が強く心に残っている。次に、伊藤忠商事株式会社取締役会長の小林栄

三氏、本学キャリアアカデミー、国際連合広報センター所長の根本かおる氏と坂東学長によるパネルディスカッションが行われた。根本氏の「自らの世界観を持ち全体を俯瞰して自分に向かってくるのか、行動を起こす」という言葉は、ケネディ氏の講演とも通じるところがあった。広い視野をもって、自分のできることを考え、行動につなげることで周囲をも変革する力と

なるのだ。今回のシンポジウムは得がたい貴重な機会であり、多くの学生が感銘を受けたと思う。自分達の可能性と真剣に向き合っていきたい。(学報委員 實形采佳)

先般、リクルートワークス研究所が発表した調査結果によれば、二〇一五年三月卒業予定者の求人数は六年ぶりに前年を上回り、有効求人倍率は前年の一・二八から一・六一に大きく上昇した。景気の回復、企業業績の改善により求人数が増えていることが確実に表れている。そうした状況の中、五月一日(水)、創立者記念講堂で「第一回就職ガイダンス」が行われ、二〇一六年三月卒業予定者を対象とした就職活動支援講座がスタートした。同講座をうまく活用してもら

得た知識を理解することができた。子どもたちとの触れ合い、日頃の学習とは違う学びが得られた。帰寮後、グループごとに実習報告会を行い、観察結果を話し合うことで、子どもたちから多くの刺激を得られる保育者の喜びと共に、責任の重さ、援助の重要性などを再確認する貴重な機会となった。学生自主企画として、自然教育を学んだ。東明学林の広大な自然の中を散策し、心惹かれた事象を子どもたちにどう伝えればよいかを考える実践的なワークショップになった。学寮での体験を今後も活かしていきたい。(学報委員 代田裕子)

世田谷区との 連携協力に関する包括協定を締結



五月二十八日(水)、世田谷区との連携協力に関する包括協定を締結した。この協定は、本学と世田谷区が行政における様々な分野において、人的・物的・知的・相互活用その他連携協力を推進することにより、地域社会の持続的な発展に資することを目的としている。

平成二六年度 学寮研修報告

東明学林 初教 4/22~25
初等教育学科では一・三年生が望秀、二年生が東明と二つに分かれて学寮研修を行った。

初等教育学科らしい取り組みとしては、教育実習の一環として学寮周辺の幼稚園、保育所、小学校で参観実習を行った。保育、教育の現場を間近で体感し、実践的に授業で

望秀海浜学寮 ビジネス 5/20~23
ビジネスデザイン学科は千葉県館山市で学寮研修を行った。研修では、実践的なプログラムに取り組みを二つ紹介したい。一つ目は、三井アウト

生の就職活動のポイント「短期決戦に向けた用意周到な準備」である。周知のとおり、この年から企業の選考開始時期が大学四年生の四月から八月に変更となり、採用選考期間が四ヶ月短くなるためだ。キャリア支援センターは企業の採用動向の把握に努め、就職活動に必要な内容の講座を早め早めに多数実施していく。「用意周到な準備」のために、キャリア支援センターで受けることができる個人面談なども活用しながら、同講座をうまく活用してもら

三井アウトレットパーク木更津にて
英語でのプレゼンテーション
こうした取り組みのほか、昭和ポストンと遠隔授業システムを通じ、留学生による授業が行われ、活発な交流ができた。

プレゼンの準備が間に合うかどうか心配したが、各グループとも素晴らしいプレゼンを行うことができた。なお、優勝グループのプレゼンは、秋桜祭で披露するので是非ご覧いただきたい。(ビジネス 唐澤りか)

協定書を手にする坂東眞理子学長と保坂展人世田谷区長

幼稚園での参観実習

自然教育ワークショップ

三井アウトレットパーク木更津にて

英語でのプレゼンテーション

平成二六年度前期 避難訓練

六月一日一二時から避難訓練を行った。授業中に震度六強の地震が発生、建物外に避難する想定で、地震発生時の初期行動と、屋外指定場所へ安全かつ迅速に避難し、人員確認を行うことを目的としている。

放送を合図に、揺れが収束するまでの安全確保二次避難を行った。避難二次避難は雨天のため行わず、「災害時対応マニュアル」の内容や、避難経路・場所等を確認した。東日本大震災から三年、訓練を契機に、学生一人ひとりが危機管理について真剣に考えてほしい。

ENVO 五大学共催でディスカッション大会を開催

六月八日に本学、日本女子大学、清泉女子大学、共立女子大学、東洋英和女学院大学のENVOが合同で、「第三回桜ディスカッション」をコスモスホールで開催した。当日は二六大学から、述べ二五〇人の学生が参加した。



会場を彩った手作りの装飾



活気あふれる大会となった

運営委員は参加者に感動を与えることを目標に、開会式と閉会式で会場装飾を変えるなどの趣向を用意。参加者の予想を越える大会にするために装飾にも力を入れた。参加者からは、この大会が自分を見つめなおす良い機会になったという嬉しい声を多数いただいた。参加者がしっかりとディスカッションを行えたというこの証でもあり、運営側が目標を達成できたということでもある。

心配していた天気もテーマに沿うかのように雨が上がり、素晴らしい大会となった。

(部長 桑原磨美)

ENVO ポランティアコーディネーター交流会を開催

五月三十一日、学生ボランティアコーディネーター(ENVO)は他大学との交流会を本学で開催した。本学のほか、神奈川大学と法政大学のボランティアコーディネーター三〇名が参加し、「ポランティアコーディネーターとは？」をテーマに、各大学の活動報告やアイスブレイク、グループディスカッションを行った。交流会の目的は「ポランティアをコーディネーターとする」ことを改めて考



オリエンテーションをする野澤さん



えることである。他大学の意見や経験を聞くとともに、自分の経験を発信することで、新しい活画の提案がだされ、今後の活動がより楽しみになった。

また、この交流会自体も企画から運営に至るまで学生が主体的に取り組んだ。今年二月に開催された「全国学生ボランティアフォーラム」で得た他大学とのつながりや、企画運営のノウハウを活かしたことも、よい経験となった。

ポランティアの魅力をどのように伝えていくか、ENVO一丸となって考え、発信していきたい。(ENVO 野澤智媛)

挑戦しよう！ 第五回「トルストイを読む」コンクール

トルストイが身振りまじえて何やら話している。聞いている二人の子供の笑顔と目の輝き。写真入りのチラシやポスターが目にとまっただろうか。

「トルストイを読む」コンクール。ロシアの文豪トルストイの教育思想に共鳴して創立された本学の公募である。創立九〇周年を機に始まり、今年で五回目となる。初等部、中高部、大学でそれぞれ優秀賞が選ばれ、さらにそのなかから最優秀の一篇が理事長賞にふさわしい挑戦を。

学園連携委員会

福祉 中本優里さん タッチラグビー オーストラリア遠征に参加

今年三月にオーストラリアで開かれたナショナルタッチリーグ(NTL)に日本代表として出場した。NTLは、オーストラリア中の強豪が集まる最もレベルの高い大会だ。



全日本のユニフォームを身にまとった中本優里さん

結果は一勝四敗と納得のいくものではなかったが、勝敗以上に貴重な経験ができ、確実に成長して帰ってくるのができた。日ごろは「グスタールタッチ」という学生チームに所属し、練習をしている。チームには、自分同様、大学から始めたメンバーも多い。

現在は、平成二六年にオーストラリア・コフスハーバーで開かれるワールドカップに、再び日本代表として出場できるように練習に取り組んでいる。(福祉 中本優里)

クラブ・サークル活動紹介 ENCORE

私たち「Encore(アンコール)」は、「音楽×ボランティア」をコンセプトに活動している学内サークルだ。歌やダンス、楽器の演奏など、音楽が好きなメンバーが集まり、



練習の成果を地域イベントで披露

地域イベントでのパフォーマンスや出店の企画・運営、デイサービスセンターへの訪問などを、行っている。

四月二十七日(日)には、太子堂商店街主催のまちなかフェスティバル「ENCORE」に参加し、

行事予定

- 7月1日(火) 前期修了予定者修士論文提出日
【文研】ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団(18:15)
- 7月2日(水) 【女教】さだまさし氏「日本妖精伝」(15:30)
- 7月4日(金) 大学院7月期入学試験(生活機構学専攻のみ)
【文研】古典芸能・落語観賞会(18:15)
- 7月5日(土) 大学院7月期入学試験、教育実習報告会(14:00)
第30回メンターカフェ「留学経験を活かそう！」(13:30)
【女教】谷垣禎一氏「最近考えること」(13:10)
- 7月6日(日) 図書館特別開館(9:00~16:00)
- 7月7日(月) 図書館試験貸出開始(~/7/22)
- 7月9日(水) 第38回メンターフェア(11:45)、第2回学生会クラス学生総会(15:30)
【女教】小池百合子氏「女性のリーダーシップ20/30について」(15:30)
【特研】現代 林浩史氏「地方都市の地域振興におけるメディアと観光事業の役割」(15:30)
- 7月11日(金) 図書館ゼミガイダンス最終日
- 7月12日(土) 大学院7月期入学試験 合格発表(10:00)
インターンシップマナー講座(13:00)
- 7月13日(日) 図書館特別開館(9:00~16:00)
- 7月15日(火) 第39回メンターフェア(11:45)
- 7月16日(水) 教免一括申請申込事務連絡会(15:30)
- 7月19日(土) 教免一括申請申込事務連絡会(12:30)
- 7月20日(日) 第3回オープンキャンパス(10:00)、図書館特別開館(9:00~16:00)
- 7月23日(水) 【特研】管理 広瀬幸雄氏「コーヒーサイエンス(仮)」(15:00)
- 7月25日(金) 図書館長期貸出開始(~/9/18)
- 7月30日(水) 第二回全学対象TOEIC IPテスト(4・5限)
【特研】健康 川端理香氏「スポーツと栄養(仮)」
- 7月31日(木) 前期授業終了、前期卒業予定者「卒業論文」提出日(10:00~16:00)